



クオリティースコアカード

会員N0. \_\_\_\_\_ <名前> \_\_\_\_\_ <年齢> \_\_\_\_\_ (男・女)  
 会員N0. \_\_\_\_\_ (男・女)

回数 距離	1セット	2セット	3セット
3 M			
5 M			
7 M			
9 M			
計			

<とき> \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 合計得点 \_\_\_\_\_ 点  
 <ところ> \_\_\_\_\_ 審判者名(主) \_\_\_\_\_  
 (副) \_\_\_\_\_

日本クオリティ協会

本協会は、クオリティの普及、発展並びに会員の資質の向上をはかり、その活動を通じて健康な心身、豊かな情操と節度ある気風を育てることにより、学校教育または社会教育に貢献すると共に、地域社会の文化向上、スポーツ振興に資することを目的とします。「競技規則の制定」「競技大会の実施」「日本記録・世界記録の公認」「競技力向上のための研究」「公認審判員・指導員の養成・認定・派遣」「講習会の開催などの普及活動」「用具・施設の検定及び公認」が基本的な会の活動です。



日本クオリティ協会

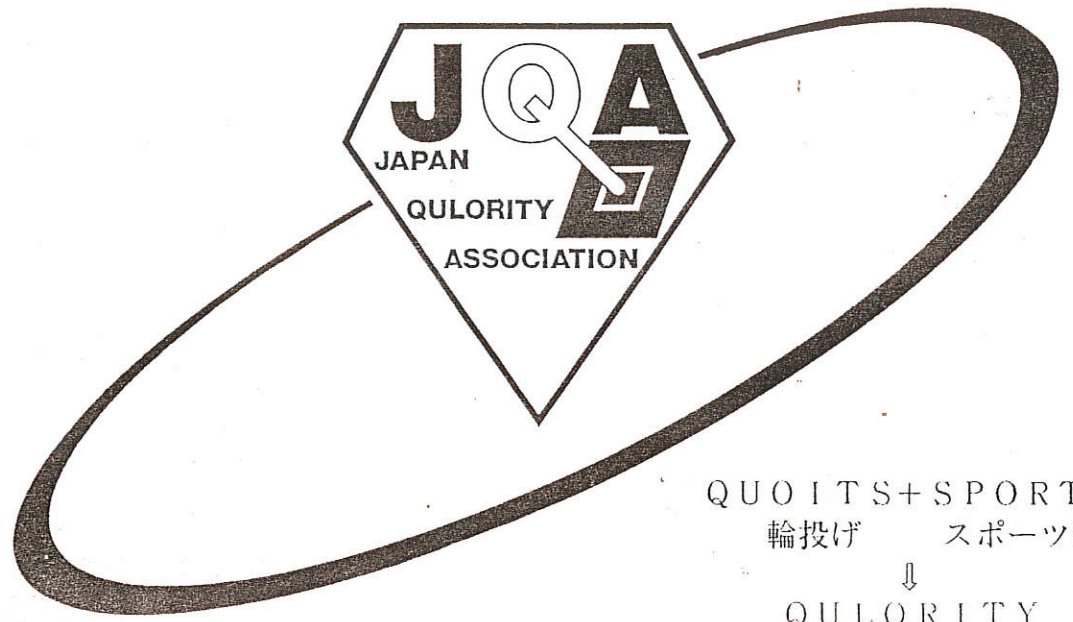
西日本本部 〒537 大阪市東成区大今里3-12-23 情報センター内 ☎06-971-9190  
 本部 〒470-01 愛知県愛知郡東郷町大字春木字追分3050

日本クオリティ協会・役員

会長	三井淳藏	名古屋工業大学教授	理事	金田隆一	北海道文理科短期大学専任講師
理事長	石川幸生	名古屋女子文化短期大学教授		田中喜代次	筑波大学助教授
常任理事	師岡文男	上智大学専任講師		伊藤 宏	名古屋工業大学助手
	山崎旭男	岐阜聖徳学園女子短期大学助教授		井上倫明	岡山商科大学専任講師
	黒柳 淳	一宮女子短期大学専任講師	他	森谷敏夫	京都大学助教授
	吉田正信	日本フレンドリースポーツ連絡協議会		川西正志	鹿屋体育大学助教授
	青木 葵	愛知県クオリティ協会理事長			
	藤田修三	三重短期大学教授			



大 阪/東大阪市横小路町5-3-31 TEL. 0729-85-2226(代) FAX. 0729-88-2425  
 東 京/東京都江東区亀戸1-36-4-401 TEL. 03-3636-3201(代) FAX. 03-3636-3383



QUOITS+SPORTY  
 輪投げ スポーツ的  
 ↓  
 QULORITY  
 クオリティ

スポーツ輪投げ

“クオリティ”

スポーツ輪投げ“クオリティ”は、アメリカの“ホースシュー”と日本の伝統的な“輪投げ”をミックスして作られた最新の投げ輪競技です。

この競技の特徴は、リングが目標棒に入らなくてもリング(輪)の一部がベース(得点板)内であれば得点となり、次のプレイヤーの機転で、すでに投げられた味方のリングを有利にしたり、相手のリングを不利にしたりできるのが、おもしろいところです。特に専門的な知識が必要でなく、ルールも簡単なので、子供から高齢者に至るまで、誰でも楽しむことができる健康スポーツといえます。

ゲームは1対1、2対2の対抗戦で行いますが、ゲームの方法は、それぞれの体力に応じて無理のないように、一般男女、子供、高齢者によって投げ輪距離を変えるようにしています。



## クロリティーの運動効果について

スポーツ輪投げクロリティーの運動量は3~6(Cal/min)程度です。これは、健康に良いとされる歩行(80m/分)と同様の運動効果が期待できます。その他の種目であれば、“ゴルフ”、“体操”、“フリスビー”、“ローンボウルス”などです。また、クロリティーは従来の競技スポー

ツのように勝敗にこだわることなく、楽しみながら誰もが参加できるスポーツとして、また、体力の低下を防止し、自らの健康維持に役立ちます。そういう意味から、健康スポーツの代表的な一種目であると思われれます。

## 国際機関との関係について

日本クロリティー協会は、日本ホースシューピッチャーズ協会の役員も兼任し、その上部団体の国際ホースシューピッチャーズ協会と提携しています。現在は、台湾、韓国など東南アジアの一部

に普及し、国際大会も企画されています。平成元年、海部首相がアメリカのブッシュ大統領とホワイトハウスにおいてクロリティーと同じ規格をもつホースシューを楽しまれたことは、つとに有名です。

## クロリティー公認用具の規格及び名称

(日本クロリティー協会制定)

### 1. レーン

レーンは平らであること。幅91cm×長さ10m以上が必要。ボードから3m、5m、7m、9mの位置にラインを引く

### 2. 得点板(ボード)

- (1)大きさと形 75cm×75cmの正方形の公認ボード
- (2)材質 本体木製、表面はカラービニール類または塗装仕上げ
- (3)得点色別  
金色…10点(センターポール)  
黄色…8点、赤色…6点、  
青色…4点、黒色…2点

### 3. リング(輪)

- (1)色 チームの区別ができるように単色カラーで2種類
- (2)大きさ 内径13cm、外形18cm
- (3)重さ 150g~200g
- (4)材質 ゴム製
- (5)個数 20個(1レーンにつき)

### 4. ゼッケン

- 色と番号 チームの区別や投げ輪の順番が明確なもので番号は1, 2, 3, 4

## 競技の概要

### 1. 人数

- シングルス(1対1)  
ダブルス(2対2)  
ミックスダブルス(男女2対2)

### 2. ゲームの進め方

- (1)ジャンケンで投げ輪の順番を決める。
- (2)審判の笛の合図でゲーム開始。

- (3)シングルスは、交互に1個ずつ、各々計10個のリングを片手で投げる。ダブルスは、先攻・後攻交互に4~5投ずつ投げる。

※あらかじめ決められた指定位置(ライン)から足を出してはいけない。  
※投げたリングが静止するまでラインより前には出てはいけない。

- (4)勝敗は、以下の方法により、得点の総合計点で決める。

得点は、プレーヤー立ち会いのもとに、全て、審判員が行う。

#### ①シングルス(1対1)

- ・シングルス一般: 5m, 7m, 9m, 各距離10投×3回=30回(満点300点)
- ・シングルス子供・高齢者: 3m 5m, 各距離10投×2回=20回(満点200点)

#### ②ダブルス(2対2)

- ・ダブルス一般: 5m, 7m, 9m, 各距離10投×3回=30回 2人合わせて60回(満点600点)
- ・ダブルス子供・高齢者: 3m, 5m, 各距離10投×2回=20回 2人合わせて40回(満点400点)

#### ③ミックスダブルス(男女2対2)

- ・ダブルス一般と同じ(満点600点)

※競技は、3セット及び1セットマッチプレーで行う。上記は、1セットマッチプレーの場合。

### 3. 有効得点

得点の判定はプレーヤー立ち会いのもとすべて審判員により行う。各距離3m、5m、7m、9mからボードに向けて投げ輪した後、有効な得点を数える。有効な得点とは、反則をしないで投げ輪し、ボード上にリングがあることが条件。何点になるかは、ボード上に点数ごとに色分けされたエリアのうちリングが半分以上かかっているエリアの点数によって決める。有効得点になる場合は次のとおり。

- (1)ボード上に単独である場合。
- (2)相手チームのリングの上に重なっている場合。ただし、逆に、相手チームのリングが3分の1以上、上に重なっている場合は得点に数えられない。もし重なっている場合は、上に重なっているプレーヤーのリングが得点対象となる。

- (3)センターポールにかかっている場合。

- (4)リアクションボードを利用してボード上にリングがある場合。いわゆるテクニカル得点となる。

④反則や、地面上に1度落ちた後、バウンドしてボード上にある時は得点として認められない。また、反則やバウンドしたリングの影響によってボード上に変化が生じたときは、審判員によりすみやかに元の状態に戻す。

### 4. 反則(フォルト)

- (1)審判の指示に従わないで勝手に投げ輪した場合。
- (2)投げ輪の順番を間違えた場合。
- (3)投げ輪時にラインから足が出た場合。
- (4)両手でリングを投げた場合。
- (5)投げたリングが落ちて静止しないうちにプレーヤーが動いた場合。
- (6)1度に2個以上のリングを投げた場合。

以上反則のあった場合の得点は原則的に認められない。反則によってボード上に影響を及ぼした場合はゲームを中止し、速やかに現状に戻しゲームを再開する。

### 5. 失格

- (1)大きな声で叫んだり、暴れたり、他のプレーヤーの迷惑をかけた場合。
- (2)時間になってもプレーヤーが来ていない場合(相手チームの不戦勝とする)。

### 6. 審判員 審判員は、主審1名、副審1名とする

主審: プレーヤーの左側に位置し、反対のジャッジや有効得点のチェックをするとともにゲームがスムーズに楽しく、気持ちよく進行できるように責任を持って運営することを、主な任務とする。  
副審: 主審と対角線上のボードの横に位置し、ゲーム進行中、反則やバウンドしたリングの影響によってボード上に変化が生じたときは、速やかに元の状態に戻したり、主審を補佐しながらゲーム進行を助ける。また、有効得点をスコアカードに記録する。